

豊かな環境を次世代につなぐ

エコプロ2025に協賛会社が出展

環境問題への取り組みを企業や団体が紹介する「エコプロ2025」が12月10～12日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開かれました。同じ期間に、社会インフラや自然災害対策をテーマにした展示会もあり、「SDGs Week EXPO」のひとつとしての位置付けです。SDGs Week EXPO 全体で、約450社・団体が出展し、3日間で合わせて約6万人が来場しました。

ベルマークの協賛会社からはキユーピー(ベルマーク番号07)、明治(同25)、エプソン販売(同73)、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(同76)が出展しました。



人々と地球のための「新しい食品」／キユーピー

プラントベースフードを展開しているブランド「GREEN KEWPIE」を紹介していました。

ブースではGREEN KEWPIEの商品を作る過程で出る二酸化炭素の量が少ないことや、多様な食の価値観に対応し、誰もが食べることを楽しめる未来などについての説明がありました。GREEN KEWPIE プロジェクトリーダーの綿貫智香さんは「ブランドに込めた思いや



背景、キユーピーがどのような社会を目指しているかも知ってもらいたい」と語りました。



カカオのさまざまな可能性／明治

3つのコーナーからカカオを学べるようになっていたのが明治のブースです。

まずはカカオの基礎知識。

2つめは、森の生態系にならって複数の植物を育てる「アグロフォレストリー」についてです。3つめのコーナーは、カカオの新しい価値。カカオを丸ごと使い切ることによってカカオの価値を高め、生産農家に還元していくことにつながります。グローバルカカオ事業本部カカオマーケティング部の塚本菜月さんは「農家が手間をかけて育てたカカオには大きな価値があり、いろいろな可能性が秘められていることを伝えたい」と話しました。



環境への負荷の少なさが災害時にも役立つ／エプソン販売

展示されていたのはインクジェット複合機「LM-C6000」。低い消費電力で安定した稼働ができます。環境問題の解決策となるだけでなく、災害時にも役立つとして、同社

はBCP対策への活用を提案しています。BCPは「事業継続計画」という意味で、災害などの緊急時でも企業が事業を続けるための計画のこと。PオフィスMD部の石岡賢一さんは「『LM-C6000』は複合機カテゴリーとして初めて防災推奨認証を取得しました」と教えてくれました。



リユース部品は環境への貢献そのもの／NGP

「伝えたいのは、サーキュラーエコノミーとは何か、NGPがどのように環境に貢献しているかです」と話してくれたのはサステナブル総務委員長の岸本恭秀さん。サーキュラーエコノミーは3R(リデュース・リユース・リサイクル)をさらに発展させ、廃棄物を出さずに資源を循環させることを目指す考え方です。「リユース部品」を使うことは、サーキュラーエコノミーの実現に直結します。ブース内では動画が上映され、見終わったあとは自動車のエンブレムのプレゼントがありました。



体験型の授業で楽しく学ぼう

へき地校支援、理科実験教室と一輪車講習会を計5校で開催

財団はへき地校向けに理科実験教室や一輪車講習会を開いています。10月から2月にかけて、計5校で実施しました。

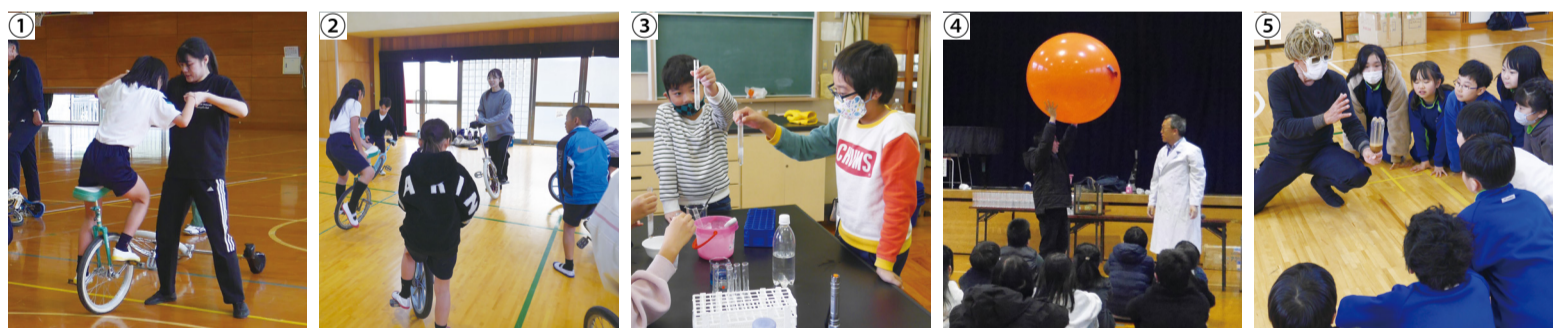
佐賀県伊万里市の市立波多津小学校では10月28日に、広島県三原市の市立鷺浦小学校では11月21日に一輪車講習会がありました。インストラクターによる模範演技の披露のあと、子どもたち自身で一輪車の点検をして、実技指導を受けました。インストラクターは「怖がら

ず、勇気をもって取り組んで」「グループ演技では自分がどうしたら、相手がやりやすいかを考えよう」と子どもたちに語りかけました。

愛知県岡崎市の市立宮崎小学校では11月17日に、理科実験教室が開かれました。講師は北海道立オホーツク流氷科学センターの学芸員、桑原尚司さん。11月28日に開かれた、新潟県の三条市立森町小学校の教室の講師は、富山大

学教育学部准教授の月僧秀弥さん。愛知県の新城市立黄柳川小学校で2月4日に開かれた教室では、国立研究機関の元研究者で理学博士の納口恭明さんと元専門員の樽優子さんが授業をしました。

講師たちはそれぞれの専門分野に親しみを感じてもらおうと、さまざまな実験を披露しました。子どもたちからは「難しい話を簡単に教えてくれて、ありがとうございました」という感想が寄せられました。



①手を取り、アシスト中(佐賀・伊万里市立波多津小) ②蹴り上げ乗車を練習(広島・三原市立鷺浦小) ③「過冷却」の実験。一瞬で凍る姿に興味津々(愛知・岡崎市立宮崎小) ④空気には重さがあるよ(新潟・三条市立森町小) ⑤砂と水の入ったペットボトルをよく振って、しばらく待つ(愛知・新城市立黄柳川小)

スポーツ大会にマーク回収ブース

スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会

一般社団法人日本ゴルフツアー機構(JGTO)の主催で、ベルマーク財団が後援する「第22回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会」が昨年11月29日、兵庫県三木市の三木ゴルフ倶楽部で開催されました。子どもたちが協力する心や思いやり、礼儀を学び、健やかに成長することを目的に始まりました。大会は東日本大会と西日本大会に分かれており、東日本大会は7月に福島県西郷村で行われました。

当日、会場にはベルマーク回収ブース

が設けられ、参加者が持参したベルマークが寄せられました。協賛会社のスミフルジャパン(ベルマーク番号70)は、選手らにバナナやパインを提供して大会に協力しています。

コースでは、「ナイスショット!」「オッケー!」といった声があちこちから飛び交い、家族の応援に包まれて、終始笑顔のあふれる和やかな雰囲気でした。お兄さんやお姉さんを応援する小さな子どもたちの姿も多く見られました。



集まったベルマークは、JGTO 貢献事業部長の宮内勝さんと山田寛さんが、後日財団へ届けてくれました。



ベルマークはこちらにどうぞ

Totsuがインスタントカメラを販売中

協力会社のTotsuが「Kodak Mini Shot RETRO」を取り扱っています。撮ったその場でプリントできるインスタントカメラとしての機能と、スマートフォンで撮影した写真をプリントできるフォトプリンターとしての機能が搭載された2-in-1モデルです。

出力プリントサイズによって製品名が異なります。「Mini Shot2」は54mm×86mm。「Mini Shot3」は76mm×76mmです。お問い合わせはTotsu(0120-129-102)まで。



⑥Kodak Mini Shot2 RETRO イエロー(税抜20,000円)
⑥Kodak Mini Shot3 RETRO イエロー(税抜22,200円)

友愛援助リスト

〈友愛援助申し込み〉1月1日～1月31日
◆千葉県 さわやか県民プラザ(柏市) ◆東京都 多聞小(世田谷区) 恵泉女学園中・高(世田谷区) 第四小(東大和市) 多摩桜の丘学園(多摩市) ひばりが丘中(西東京市) ◆神奈川県 清泉女学院中高(鎌倉市) ◆静岡県 オイスカ浜松国際高(浜松市中央区) ◆兵庫県 ゆりのき台小(三田市) ◆大分県 豊府小(大分市)

大台達成校

1月		
湖北台西小	千葉県我孫子市	4,003,356
道野辺小	千葉県鎌ヶ谷市	4,014,268
坂井輪小	新潟市西区	4,025,147
豊橋ゆたか学園	愛知県豊橋市	3,018,061
高美が丘小	広島県東広島市	3,000,840
広田小	長崎県佐世保市	3,013,216
鹿野小	仙台市太白区	2,003,595
高部屋小	神奈川県伊勢原市	2,007,753
大治西小	愛知県大治町	2,098,939
中島小	さいたま市桜区	1,006,339
関谷小	神奈川県鎌倉市	1,023,915
日野小	長野県須坂市	1,087,815
浜風小	兵庫県芦屋市	1,005,375